

# 令和4年10月定例教育委員会議事録

(白石町教育委員会会議規則第16条及び第17条の規定により作成)

- 1 日 時 令和4年10月14日(金)午後1時11分  
役場3階 職員控室
- 2 出席委員 北村教育長 松尾委員 堤委員 川崎委員 一ノ瀬委員
- 3 事務局職員 出雲学校教育課長 梅木主任指導主事 川畑教育総務係長  
本山新しい学校づくり係長 池田新しい学校づくり係長  
下平指導主事 廣滝生涯学習係長
- 4 前回議事録の承認  
9月定例教育委員会の会議録 【原案どおり承認】
- 5 教育長の報告 別紙資料のとおり
- 6 会議に附した議案  
附議第40号 学校施設環境改善交付金事業新白石町学校給食センター  
機械設備工事請負契約について  
附議第41号 学校施設環境改善交付金事業新白石町学校給食センター  
電気設備工事請負契約について  
附議第42号 白石町教育委員会点検評価報告書について  
附議第43号 杵西・藤津地区教科用図書共同採択地区協議会規約の改正について
- 7 動議の提出者 なし
- 8 議事の概要 別紙資料のとおり
- 9 議決事項 附議第40号から附議第43号すべて議決
- 10 その他  
・事務局からの報告

1 開 会 13:11

出雲課長

2 前回議事録の承認 13:12

9月定例教育委員会の会議録を資料により説明

**委員全員承認**

3 教育長の報告 13:12

(前回以降の主な動向)

資料により数点を内容紹介。

9/29 教職員の服務上措置

10/7 町議会臨時会

10/9 スポーツフェスタしろいし2022(9:00・13:00～:町総合運動場)

初めての実施で、531名の参加者。

(杵島藤津地区教育長会《10/12》より)

資料により概要の報告。

- ・交通事故発生(加害等)状況調べ 小中学校合計9件。
- ・児童生徒性暴力等に係るアンケート調査の実施について
- ・公立学校教職員服務管理システムに係る情報共有
- ・佐賀県教員採用サイトをオープン

(その他)

- ・新聞記事より

「県立夜間中学校、1学年20人(県教委概要 授業は年間700時間)」

(10/4:佐賀新聞)

「政府が障害者基本計画素案(教育現場の分離、中止せず)」

(10/14:佐賀新聞)

- ・白石小学校だよりから

「むごい教育!？」(R4.9.1発行)

- ・教職員選考「秋選考」

11/19、11/20 選考日

- ・杵島郡PTA指導者研修会時資料により

「情報化社会を生き抜く子どもたちを育てるために!!

(ITサポートさが、小城市教育委員会、牛津地区青少年育成会作成)

#### 4 連絡事項 13:26～

##### (1) 問題行動・不登校月別報告について

梅木主任指導主事：町内小中学校の不登校児童生徒の状況、いじめの状況について資料により説明。

(全委員承諾)

##### (2) 9月定例会一般質問概要

出雲課長：資料により詳細説明。

学校教育か関係では、給食センター建設に絡む質問が3名から出ている。それから、学校再編についてというところで、中学校統合の進捗状況の質問があっている。また、ICT関連でグーグルレンズというものがあるが、という質問があったが、現在こういうものを活用して教育現場は頑張っていると紹介している。生涯学習課管轄では、白石町の町史の編纂をしてはどうかという質問とか、公共施設の民営化、民間委託というような質問があがっていた。

(全委員承諾)

##### (3) 白石町教育功労者について

川畑係長：資料により詳細説明。

今年度については、現在までのところ学校関係、生涯学習関係とも推薦があっていない。該当者がある場合は、教育委員会にお諮りし、例年12月の第1日曜日白石町教育の日に表彰を行っているが、そこで表彰を行う流れとなる。

堤 委員：以前にも話をした気がするが、教育功労表彰の第3条の在任期間について、現実とあっていない、まずありえないだろうという現状です。公民館長も12年されることはあり得ないし、PTA会長も現在は1年で交代されているため、現実に合わせて形で検討されてもいいのではと思う。学校が再編されていけば、昔のようにまとめ役という方が出てくるかもしれないが、現状そういう感じでもないため検討されてもいいのではないか。

川畑係長：この表彰規定というものが、県の表彰規定、町の表彰規定とあり、それに準じたような形で作っているため、時代に合っていない部分もあるということ、あくまでもこの表彰規定というのは、白石町教育の功労者のため、その見直しは十分行えるものと思います。中身の設定については、改めて教育委員会に御相談したうえで、より適切な年数等に変更していく必要はあるかと思えます。

堤 委員：例えば、単Pの会長をした後に郡Pの会長をした方とか、県Pの理事をされたとか、そういうのが上積みでカウントされるような、そういう形にすれば8年というのはいりうらと思う。ただ、実際には単Pを8年以上というのを想定されていると思うため、郡や県はカウントされてこないようで、何かそういう感じで考えてもいいのではと思う。

川畑係長：これが、白石町教育功労者となっているため、堤委員が言われるように町の小中学校のPTA会長をして、郡Pへ繋がっていない。内規的にそういうものを定めて運用するとかそういったところは検討してもいいのではと思う。ここで合致している部分については、学校医、学校歯科校医はほとんどが該当される。

堤 委員：実質、この公民館長というのは無いのではないかと、これは中央公民館の館長のことで、白石、福富、有明公民館の館長という意味であり、今おいてないと思う。

川畑係長：今後、生涯学習課とも内容を詰めて、この規定自体を変更するのか、内規を作って運用するのか検討させていただきたい。

(全委員承諾)

#### (4) 社会教育功労者について

廣滝係長：資料により詳細説明。

今年度、白石町社会教育委員及び公民館運営審議会委員の川崎富雄氏を推薦したところ、佐賀県から2名の中の1名ということで、推薦が通りました。10月4日に文部科学省のホームページに掲載され、表彰式が文部科学省で11月2日に行われ、川崎氏がそこに出席されるということで現在準備を進めている。川崎氏については、社会教育に関する振興に28年3ヶ月という長きにわたるといった点で推薦を行ったものです。

出雲課長：この件については、12月の白石町教育の明日を考える集会でもご紹介したいと考えています。

(全委員承諾)

#### (5) 11月行事予定表

川畑係長：資料により説明。

出雲課長：次回教育委員会の日程調整。

(全委員承諾)

#### (6) その他

北村教育長：行事予定の中で11月22日にコミュニティ・スクール研修会があるが、当日は六角小学校の研究発表があるため教育委員の方はこちらへの出席をお願いする。

5 附議事項の協議 13：43～

附議第40号

学校施設環境改善交付金事業新白石町学校給食センター機械設備工事請負契約について

附議第41号

学校施設環境改善交付金事業新白石町学校給食センター電気設備工事請負契約について

池田係長：資料により詳細説明。

令和6年度の供用開始に向けた給食センターの新築工事に伴う機械設備工事及び電気設備工事で、9月の定例教育委員会で報告した建築工事の関連工事となる。9月20日に入札を行い、9月27日に仮契約を締結した。本契約を結ぶにあたり議会の承認が必要なため10月7日に議案として提出した。先ず機械設備工事ですが、契約方法は条件つき一般競争入札で行った。契約の相手方は、栄城・兼茂建設共同企業体です。次に電気設備工事ですが、契約方法は同じく条件つき一般競争入札で、契約の相手方は、佐電工・門田電気特定建設共同企業体です。本工事の工期は令和4年10月8日から令和5年9月12日までとしている。議会の承認を得たため報告します。

委員全員承認（附議第40号・附議第41号）

附議第42号

白石町教育委員会点検評価報告書について

川畑係長：資料に沿って詳細説明。

例年点検を行い報告書としてまとめている。評価委員会の中で、指摘、質問等あった部分を朱書きで訂正している。9月27日に第1回白石町教育委員会評価委員会を開催し、本日教育委員会の承認をいただきたくスケジュールを記載している。この評価点検については、2024年までには指標的な評価を組み込むこととなるため、今後これまでにプラスして、指標も出す形になると思う。令和3年度の主要事業として19項目の点検、評価を行ったが、見ていただくと分かるようにほとんどがAの評価となっている。去年は自己評価の時点で、B、C

がありました。これについては、新型コロナウイルス感染症の影響で事業ができなかったなどそういったこともこの評価に反映させていたということで、評価委員の方からは、その評価ではなくAでもBでもいいのではないかという意見をいただいていたが、今回AとBしかないということで評価委員の方も困られたのではないかと思います。資料に評価委員の意見・評価をまとめているが、委員の方から昨年度の評価に比べ自己評価がBからAとなった3つの事業についてどのような点で頑張ったから自己評価がAとなったのか求められ、それぞれ説明した。また、学校教育支援員について、会計年度任用職員制度になり人事管理が大変になった旨説明を行った。あと2件は評価の内容の誤記等の指摘をいただいた。教育委員会で特に修正等なければ、現在の状態で評価委員会へ最終報告をさせていただき、最終的には表紙部分の(案)を削除し評価報告書としたと考えている。その後に議会の方に評価報告書を提出し、ホームページ等に掲載し公表という形になります。

北村教育長：前年度の重点施策の評価について、第1回の評価委員会での結果、意見等を添えて示している。何もなければ、第2回の評価委員会で報告をし、(案)を削除して議会へ報告するという形で進めていく。

#### 委員全員承認（附議第42号）

#### 附議第43号

##### 杵西・藤津地区教科用図書共同採択地区協議会規約の改正について

梅木主任指導主事：資料に沿って詳細説明。

これまでの経緯として教科書採択については、昨年度採択地区の再編が行われ、令和3年10月1日に施行された。これまでの6市町で構成されていた杵西地区と嬉野、鹿島、藤津で構成されていた藤津地区の協議会が一緒になり合同で教科書採択を行う再編をされている。今年度は、その規約を作成するようという指示を受けており令和2年度から準備していた規約改正が、昨日の教育長会に提案され承認されている現状にある。それぞれの市町でその内容について確認いただき、全ての市町で承認が取れたら県の方へこの規約を提出するという流れとなる。具体的には大きな変更はあっていないが、事務局等については、2つの市町で担当し業務の分担が図られるようになる。担当については4年間という形にし、前1年に準備が取れるような形で組まれている。大きな変更点は、市町の構成と事務局のローテーションとなる。

北村教育長：これまでも合同で動いてきた。その一番の理由は、学校が小規模化し、その調査委員とか研究委員を小さな学校では出せないというような事情があり、それぞれ杵西、藤津と別れて行っていたのでは、調査委員及び研究委員を出すのも一苦労だということで合同で実施をし、実質的には動いてきている。それを正式に規約を整備するため昨日の教育長会で承認され、それぞれの市町の教育委員会に附議をして、全て承認されたのちに県に上げる段取りとなる。これまでも白石町も道徳あたりは担当をした。しかし、指導主事もたくさんいる市の方で請け負っていただけないかということで、杵西でいえば伊万里市、武雄市が中心となり行ってきた。しかし、そういう一部ではなく全ての市町が関わるべきだということで、市と町が組んで全ての関係市町の教育委員会が関わるということと併せて、採択時期だけの組織ではなく、採択がないときも切れ目なく運用をしていこうということです。

一ノ瀬委員：そうすると杵西・藤津地区の9市町が同じ教科書を採択し、同じ教科書を使うということになるということですね。

梅木主任指導主事：同じ地区となるため、基本的に提案される資料というものは同じものになるということです。

一ノ瀬委員：この9市町が、今までは白石は6市町に入っており、いくつかに分かれていたものが一緒になったということか。

梅木主任指導主事：2地域です。杵西地区と藤津地区です。

#### 委員全員承認（付議第43号）

6 閉 会 13:59

出雲課長